

基本理念 住民が主体となり 誰もが心豊かに暮らせる 地域福祉の確立

～「地域共生社会」の実現に向けて～

共通視点

- 住民一人ひとりが地域の課題を「我が事」として捉え、誰もが支え、支えられる地域づくり（住民の主体的な地域福祉への参加促進、地域のつながりの再構築）
- 住民のあらゆる生活課題を、分野を超えて「丸ごと」受け止める仕組みづくり（住民・多機関の連携・協働による「制度の狭間」を含めた課題の解決）
- 人と人がつながり誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり（孤独・孤立対策、認知症対策、ひきこもり対策、ヤングケアラーなどの支援）

◆基本目標 1

地域で支え合う「つながり」の構築

- 実施項目 1 市町村社協が取り組む地域福祉の推進への支援
- 実施項目 2 住民同士の「つながり」を高めるボランティア・市民活動の振興
- 実施項目 3 地域福祉活動の担い手の養成・支援
- 実施項目 4 多様な関係者との連携強化
- 実施項目 5 地域の中でお互いがつながるための場づくりや仕組みづくりの推進
- 実施項目 6 地域ぐるみで進める福祉教育・福祉学習(福祉共育)による福祉の心の醸成

◆基本目標 2

一人ひとりの生活を支える取組みの推進

- 実施項目 7 災害時福祉支援活動と被災者支援活動の推進
- 実施項目 8 権利擁護活動の推進
- 実施項目 9 生活福祉資金貸付等住民の自立支援に向けた制度の推進と自立支援機関等との連携

◆基本目標 3

福祉サービスの充実と人材育成

- 実施項目10 福祉サービス従事者の確保と定着促進
- 実施項目11 専門性の高い福祉サービス従事者の育成
- 実施項目12 利用者の立場に立った福祉サービス提供への支援

◆基本目標 4

地域福祉推進のための基盤づくり

- 実施項目13 社会福祉制度の充実に向けた政策提言
- 実施項目14 県内関係団体の基盤の強化
- 実施項目15 本会の組織体制の充実強化

